

手順シート様式

小学部 6 年

氏名：K・N

NO.1

実 態 把 握	発達の状態、発達や経験の程度、興味・関心、生活や学習環境などについての情報収集						複 数 の 教 諭 で
	収集した情報を自立活動の区分に即して整理						
	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション	
		・イライラしているときの気持ちの切り替えが難しい ・イヤーマフを着用し集団学習に参加できる。	・好きな遊びに没頭し、大人や友達と遊ぶ様子がみられない。	・写真を見て場所移動ができる。		・困ったときに援助をしてもらうことができない。 ・指示を聞いて朝の活動を行うことができる。	

いくつかの指導目標の中で優先する目標として

指導目標	・ 集団学習などの苦手な活動に主体的に参加することができる。 ・ 友達と一緒に活動することができる。
------	---

指導目標を達成するために必要な項目の選定

区分	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
選 定 さ れ た 項 目	☐ (1)生活のリズムや生活習慣の形成	☒ (1) 情緒の安定	☒ (1)他者とのかかわりの基礎	☒ (1)保有する感覚の活用	☐ (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能	☒ (1)コミュニケーションの基礎的能力
	☐ (2)病気の状態の理解と生活管理	☒ (2)状況の理解と変化への対応	☒ (2)他者の意図や感情の理解	☒ (2)感覚や認知の特性への対応	☐ (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	☐ (2) 言語の受容と表出
	☐ (3) 身体各部の状態の理解と養護	☐ (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	☐ (3) 自己の理解と行動の調整	☐ (3) 感覚の補助及び代行手段の活用	☐ (3) 日常生活に必要な基本動作	☐ (3) 言語の形成と活用
	☐ (4) 健康状態の維持・改善		☒ (4) 集団への参加の基礎	☐ (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握	☐ (4) 身体の移動能力	☒ (4) コミュニケーション手段の選択と活用
				☐ (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	☐ (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行	☒ (5) 状況に応じたコミュニケーション

担
任
が
作
成

選定された項目を関連付け
具体的な指導内容を設定

短期目標	自分が好まないものは、「いや」「やめて」などと否定することができる。	友達と同じ空間で活動ができる。
------	------------------------------------	-----------------

授
業
担
当
の
共
通
確
認
・
評
価
事
項

具体的な指導	・ 他者とのやりとりを通して、好まないものは「いや」「やめて」と否定するよう促す。 ・ 本人に出来る活動をお願いし、「やる」なのか「いや」なのか本人の意思を尊重する。	・ ミュージックケアやグループ自活での活動を、友達と一緒にい人との活動に慣れる。 ・ ふれあい体操での教師とのスキンシップを通して、心地よさや人との触れ合いを楽しみ、もう一度「お願い」と伝えることができる。 ・ 移動教室の際に、1人で行動するのではなく友達を誘って移動するよう促す。
評価		

別紙図 7 手順シート

教材バンク記入例

教材名	リベット板 円、三角、四角	所有者	圓 雅之
中心課題	・教師とのやりとり ・文字指導の基礎		
※どのような課題があるから、どこを狙ってこの教材を利用しているのか			
使い方	・リベットを差し始める場所と方向が板に記されているので、指示し、順番良くリベットを刺す。 ・さし終わったら輪ゴムをかけ、発声（まる、しかく等）しながら指でなぞって形を確認する。（始点と終点も重要） ・同じ大きさのプリントで始点を意識しながら点なぞりを行って形の構成や弁別を行う。		
選定する内容区分	2-(3)、3-(1)(2)、4-(5)		
1健康の保持 2心理的な安定 3人間関係の形成 4環境の把握 5身体の動き 6コミュニケーション			
写真			
※教材の写真と活用場面など載せてください。			
製作にかかる金額（おおよそ）	板150円、リベット1個10円くらいで合わせて 約300円くらい		

教材バンクの作成方法

教材名

わかりやすい名前か、何を狙っている教材なのかの名称。

教材名

リベット板
円、三角、四角

所有者

圓 雅之

所有者

転勤時に所有者のデータをすべて削除するため。

中心課題

担当児童のどのような課題に対して子の指導を行っているのか。

中心課題

・教師とのやりとり
・文字指導の基礎

使い方

※どのような課題があるから、どこを狙ってこの教材を利用しているのか
・リベットを差し始める場所と方向が板に記されているので、指示し、順番良くリベットを刺す。
・さし終わったら輪ゴムをかけ、発声（まる、しかく等）しながら指でなぞって形を確認する。（始点と終点も重要）
・同じ大きさのプリントで始点を意識しながら点なぞりを行って形の構成や弁別を行う。

選定する内容区分

自立活動内容表（広島県立三原特別支援学校の資料参照）より、この教材を活用した自立活動の授業で、どの区分を選定して指導に当たっているのか。

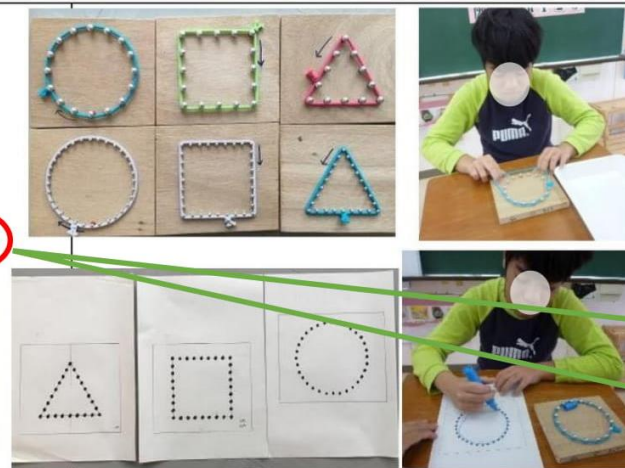
選定する内容区分

2-(3)、3-(1)(2)、4-(5)

使い方

この教材をどのように使用して、どのようなことに気を付けて指導を行っているのか。

写真



製作にかかる金額

おおよそで、作るとしたら幾らくらい必要か。次年度以降、夏休みに教材制作会等で、自ら教材を作れるようにしたい。

製作にかかる金額（おおよそ）

板150円、リベット1個10円くらいで合わせて約300円くらい

写真

2～4枚程度、教材の写真と児童が活動してる様子の写真を載せる。

「手順シート」の作成手順

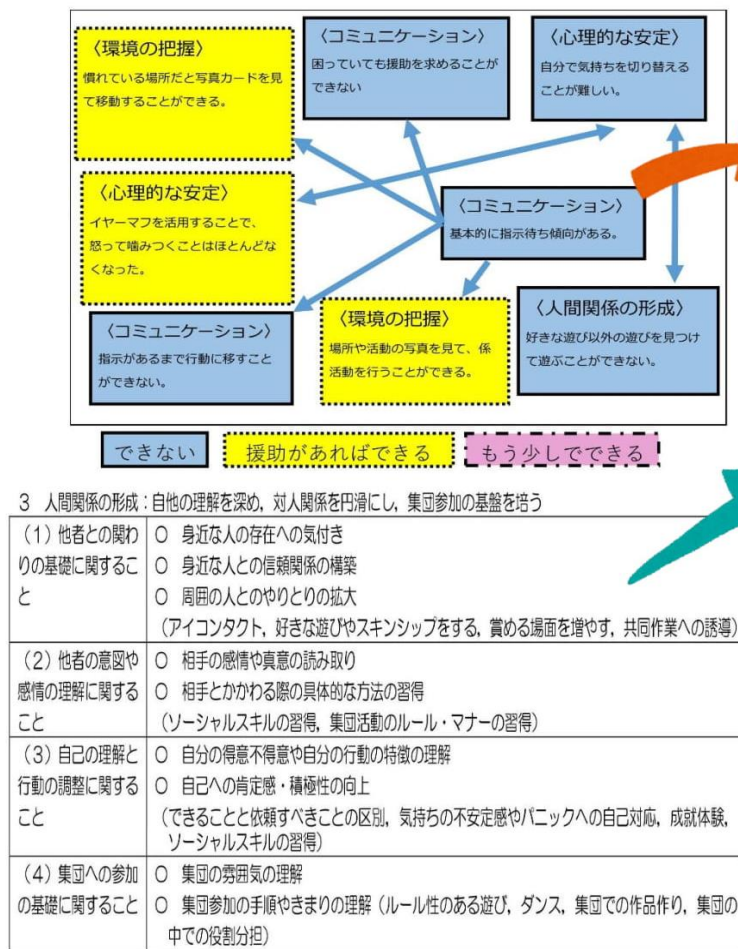


図6 自立活動内容表（一部抜粋）

指導内容や手だての焦点化を図る

小学部 6年 氏名：K・N NO.1

発達の状態、発達や経験の程度、興味・関心、生活や学習環境などについての情報収集

収集した情報を自立活動の区分に即して整理

実態把握	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
		・イライラしているときの気持ちの切り替えが難しい ・イヤーマフを着用し集団学習に参加できる。	・好きな遊びに没頭し、大人や友達と遊ぶ様子がみられない。	・写真を見て場所移動ができる。		・困ったときに援助をしてもらうことができない。 ・指示を聞いて朝の活動を行うことができる。

いくつかの指導目標の中で優先する目標として

・集団学習などの苦しい活動に主体的に参加することができる。
・友達と一緒に活動することができる。

指導目標を達成するために必要な項目の選定

区分	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
選定された項目	☐ (1) 生活のリズムや生活習慣の形成 ☐ (2) 病気の状態の理解と生活管理 ☐ (3) 身体各部の状態の理解と養護 ☐ (4) 健康状態の維持・改善	☒ (1) 情緒の安定 ☒ (2) 状況の理解と変化への対応 ☐ (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	☒ (1) 他者とのかわり合いの基礎 ☒ (2) 他者の意図や感情の理解 ☐ (3) 自己の理解と行動の調整 ☒ (4) 集団への参加の基礎	☒ (1) 保有する感覚の活用 ☒ (2) 感覚や認知の特性への対応 ☐ (3) 感覚の補助及び代行手段の活用 ☐ (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握 ☐ (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	☐ (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能 ☐ (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ☐ (3) 日常生活に必要な基本動作 ☐ (4) 身体の移動能力 ☐ (5) 作業に必要な動作と円滑な実行	☒ (1) コミュニケーションの基礎的能力 ☐ (2) 言語の受容と表出 ☐ (3) 言語の形成と活用 ☒ (4) コミュニケーション手段の選択と活用 ☒ (5) 状況に応じたコミュニケーション

選定された項目を達成内容に
具体的な指導内容を設定

短期目標	自分が好まないものは、「いや」「やめて」などと否定することができる。	友達と同じ空間で活動ができる。
具体的な手だて	・他者とのやりとりを通して、好まないものは「いや」「やめて」と否定するよう促す。 ・本人に出来る活動をお願いし、「やる」なのか「いや」なのか本人の意思を尊重する。	・ミュージックケアやグループ自活での活動を、友達と一緒にい人との活動に慣れる。 ・ふれあい体操での教師とのスキンシップを通して、心地よさや人との触れ合いを楽しみ、もう一度「お願い」と伝えることができる。 ・移動教室の際に、1人で行動するのではなく友達を誘って移動するよう促す。

授業担当の共通確認・評価事項